

# 豊田一色公民館外壁等改修工事 設計図

建築工事	
図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書 (1)
A-02	特記仕様書 (2)
A-03	特記仕様書 (3)
A-04	特記仕様書 (4)
A-05	仕上表・求積図
A-06	配置図・平面図
A-07	立面図 (1)
A-08	立面図 (2)
A-09	矩計図 (1)
A-10	矩計図 (2)
A-11	矩計図 (3)
A-12	矩計図 (4)
A-13	改修前 建具表
A-14	改修後 建具表
A-15	建具改修平面詳細図
A-16	カバー工法標準詳細図 (参考図)

藤川設計株式会社

## 工事特記仕様書（改修）

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| Ⅰ. 工事名称                               | 豊田一色公民館外壁等改修工事  |
| Ⅱ. 工事概要                               |   |
| 1 工事場所                                | 川達銅大字豊田一色地内   |
| 2 敷地面積                                | 1050㎡   |
| 3 工事内容                                |   |
| 棟名称                                   | 豊田一色公民館   |
| 構造                                    | 鉄筋コンクリート 造  |
| 建築面積                                  | 291.63㎡   |
| 延べ面積                                  | 459.41㎡   |
| 工事項目                                  | 防水改修・外壁改修・建具改修・塗装改修   |
| Ⅲ. 建築改修工事仕様                           |   |
| 1 共通仕様                                | 図面及び仕様仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和2年8月制訂版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。 |
| 2 特記仕様                                |   |
| (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。             |   |
| (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。              |   |
| (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。 |   |

1

一般共通事項

1

適用基準等

1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）  
国土交通大臣官庁省庁営繕施設修（平成31年版）  
2) 建築工事標準詳細図  
国土交通大臣官庁省庁営繕施設修（平成28年版）

2

施工条件  
(1.3.5)

監督員と協議し決定する。

施工可能日

指定なし

一部土、日曜日、祭休日施工あり

施工可能時間帯

指定なし

時 ～ 時

概成工期

指定なし

年 月 日

3

部分引渡し・部分使用

部分引き渡しあり

指定部分（ 建具 ）

時期（ 年 月 日～ ）

部分使用あり

（ ）

4

埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。  
・ 発掘調査等の実施あり  
・ 発見されず場合、発掘調査等の実施あり

5

発生材の処理等  
(1.3.12)

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別廃棄物等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約書等に明らかなりなかったやむをえない事情により、予定した条件より難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別廃棄物等の方法

工程	作業の有無	分別廃棄物等の方法
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
その他 ( )	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

引き渡しを要するもの

・ 有( )

特別管理産業廃棄物

・ 有( )

処理方法( )

水銀使用製品産業廃棄物

・ 有( ・ 蛍光ランプ ・ Hドランプ ・ ( ) )

現量において再利用を図るもの

( )

再資源化を図るもの

・ コンクリート塊

・ アスファルトコンクリート塊

・ 建設発生木材

成形板等の廃棄・撤去にあつては、事前にご連絡有に係る施工調査を行う。含有率が明示した場合、改訂標準仕様書(9.1.5)に従う。

6

建設副産物の情報交換システムへの登録

請負金額100万円以上の工事において、受主者は工事着手前ご「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ提出すること。

また、工事完了後ご「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成率は、JACOの監査する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

7

三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税担当が計上されていないため、受主者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの期間ご一定の様式で産業廃棄物課税付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期限を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計値を超えて請求することはできない。

8

電気保安技術者  
(1.3.3)

配置する

9

技能士  
(1.6.2)

職務割りに可能なものについては、積極的にご利用のこと。

10

施工数量調査  
(1.5.2)

調査範囲及び調査方法 

工種別の特記による

11

調査のための破壊部分の補修  
(1.5.3)

補修方法 

図示（図面番号： ） ・ ( )

12

建築材料等

1

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする（ほか「建築材料・設備機材等品質性評価審査事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準に上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。

2

本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。

3

製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法産、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書、監督員に提出すること。

4

本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用する（ほか、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やほかの認証機関が認証する「あか木材」の優先利用に努めること。

5

本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

6

下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。  
(認定製品の品名： )

7

下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。  
認定製品の品名： 間伐材製工事用ノケード 間伐材工事用看板 間伐材構成板 ( )

13

化学物質の濃度測定  
(1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	キシレン	エチルベンゼン	ナジクロロベンゼン
学校	教育施設	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●
	その他	●	●	●	●

測定対象室及び測定箇所数

・ 図示（図面番号： )

・ ( )

測定方法

( ・ パッシブ法 ・ アクティブ法)

測定時期

( ・ )

報告書提出回数

2 部

14

特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

15

騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型騒動機械の指定に関する規程に基づき指定された騒動機械の使用に努めること。

16

工事写真  
(1.2.4)

「営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部（令和3年版））に従い撮影すること。

なお、デジタル工事写真の小黒板掲載電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板掲載電子化について（平成29年3月1日付国営第211号）」による。

17

完成図等  
(1.8.2)

作成する ( ・ ) 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ( )

完成図作成範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）

完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発主者に移転するものとする。

18

完成写真

デジタルカメラで撮影し、全て、版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚 1部  
箇所数が多い場合は、2部程度とし、規定の箇所数確保できない場合には、監督員と協議すること。  
・ アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 1部

19

電子納品

工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。  
(提出部数 ・ 3部 ・ 部)

工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。  
(提出部数 ・ 3部 ・ 部)

20

設備工事との取合い

施工範囲

・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強

・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び修繕

・ 自動排気装置取付け箇所及び切込み及び修繕

・ 配管設置が電配による建具等の2次配の配管・配線及び操作スイッチ

施工図

・ 設備機器の位置、取合い等の補強できる施工図を提出し、監督員の承認を受けること。

21

既存部分等への取合い  
(1.3.13)

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損壊した場合は、監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修する。

22

事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

23

下請次數制限及び県内企業優先使用

本工事に於ける下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前二書面より発主者の承認を得ること。

本工事に於いて、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内（本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は附帯する建設事務所管内（本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定する）に努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前二書面より発主者に報告を行うこと。

24

総合評価方式

本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発主する案件（以下「発主工事」という。）で、貴社の評価点において発主工事の加算点（満点）の0.1割を減点します。

25

不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について

1） 発主者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

2） 1）により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発主者に報告すること。

3） 発主者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程が遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発主者と協議を行うこと。

26

消防法関係の手続

1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成  
・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事

2） 防火対象物使用届出書  
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

27

主任技術者又は監理技術者

1） 技術者要件  
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。

2） 専任を要しない期間  
(1) 現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打ち合わせにおいて定める。  
(2) 検査終了後の期間  
検査完了後、検査が終了し（発主者の都合により検査が延期した場合を除く。）、事務手続、後片付け等ののみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発主者が工事の完成を確認した日、受注者に通知した日とする。

28

工事の一時中止

29

労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

30

建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重

31

火災保険等

32

不正転売の使用の禁止

33

技術検査

34

保固に関する資料

35

屋外広告物

36

社会保険等未加入対策

37

現場での安全確保 自主施工原則

38

電子メールの活用

39

設計図書の照査

2

仮設工事

1

騒音・粉じん等の対策  
(2.1.3)

2

足場等 (2.2.1)

3

既存部分の養生  
(2.3.1)

4

仮設間仕切り  
(2.3.2)  
(表2.3.1)

5

監督員事務所  
(2.4.1)

6

監督員事務所の設備、備品等  
(2.4.1)(2.4.2)

工事の一時中止の取り扱ひについては「工事の一時中止のガイドライン」（平成29年7月 三重県土木整備部）による。  
三重県建設工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止の理由とにおける工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。  
なお、基本計画書には、中止時刻における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにすること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにすること、工事の施工を一時中止する場合は、工事の縮小に備え工事現場を保全すること。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

建築基準法に基づき定められた区分等  
基準風速  $V_b=34 \text{ m/s}$   
地面積区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)  
積雪区分( ) cm

三重県建設工事請負契約書2条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。  
1) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)  
2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成後速しまでの間  
3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

1) 一般事項  
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正転売(地方税法第144条の32 製造等の承認を受ける義務)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。  
2) 調査の協力  
受注者は、県が使用燃料の採掘調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
3) 是正措置  
受注者は、不正転売の使用が判明した場合は、速やかには正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正転売の使用が判明した場合は速やかには正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

中間技術検査 実施回数 回 実施する段階 ( )

・ 2部 ( )

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

適用除外でないにもかかわらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。  
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者からの加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手配について、自らの責任において定め、工事を実施すること。  
設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定図改の変更や増上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じうえて、工事を実施すること。

「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年7月」を適用する。  
( 三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照)

三重県公共工事共通仕様書(編)第1章1-1-3 2設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。  
なお、監督員の請求がかった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

防音バネル 設置範囲 図示(図面番号: )  
防音シート 設置範囲 図示(図面番号: )

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」(における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式より行いこと。  
外部足場 ○ 設置する(設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ( ) ) ・ 設置しない  
防護シート ○ 設置する(設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ( ) ) ・ 設置しない  
内部足場 ○ 設置する( ) ・ 設置しない

材料、撤去材等の運搬方法  
種別( A 種 B 種 C 種 D 種 E 種 )  
C 種: 利用可能なエレベーター( )  
D 種: 利用可能な階段 ( )

令和4年1月2日以前に高さからm以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能基準適合止用器具(フットプレート型)とし、「壁掛け止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。

既存部分の養生 図示(図面番号: )  
既存ブラインド・カーテンの養生  
養生方法( ) 保管場所 構内既存施設内 ( )  
固定された機具、机、ロッカー等の移動 行 行わない

屋内の仮設間仕切り A 種 B 種 C 種  
合板 厚さ 9mm ( )  
せこうボード 厚さ 9.5mm ( )  
合板又は石こうボードの塗装 行 行わない  
仮設扉 設置箇所 図示(図面番号: ) 仕様 合板製り 木製扉 ( )

構内建物内の一部を使用する。  
設置する  
監督員事務所の規模 単位 m<sup>2</sup>

適用	規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
----	----	------	------	------	------	-------

  
監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板製り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板製り又はせこうボード張り・合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	塗装済金属板葺き鋼板製り、又は鉄板製り、調合ペイント塗り

種類 机・いす 書棚 黒板・白板 時計 温度計  
数量 組 台 個 個 個  
種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー  
数量 足 着 個 個 台  
種類 消火器 掃除具 受注者加入電話 FAX 冷暖房機器 インターネット  
数量 個 個 台 台 台

工事名称	図面名	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考	藤川設計株式会社	二級建築士 神奈川県登録 31327	A-01
★ 豊田一色公民館外壁等改修工事	★ 特記仕様書(1)	★ A3 : 一	★ R 4.3	★	★	★	★		長島 彰	

7仮設場所

構内既存の施設  
・ 利用できる ○ 利用できない

8工事用水

構内既存の施設  
・ 利用できる( ・ 有償 ・ 無償 ) ○ 利用できない

9工事用電力

構内既存の施設  
・ 利用できる( ・ 有償 ・ 無償 ) ○ 利用できない  
本工事で新規受電または既設電気回路ご録拠し通電した時から工事ご起因する電力料金は、本工事に含まれる。

10交通誘導警備員

配置 ・ 図示( 図面番号: )

3防水改修工事

1アスファルト防水

(3.3.3)  
(表3.3.3)～  
(表3.3.10)

工 法	種 別	施 工 箇 所
・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3	
・ PIE	・ E-1 ・ E-2	
・ PZE		

改質アスファルト ルーフィングシート  
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )  
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )

部分粘着層付改質アスファルト ルーフィングシート  
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )  
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )

断熱工法の断熱材( PIB, P2A, T1B, FOD, MCI, MCI )  
材質 ・ ( )  
・ 押出泡ポリスチレンフォーム断熱材3 種b A ( スキンあり )  
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2 種1 号  
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2 種2 号  
厚さ ・ ( )  
ルーフドレン回り 及び立上がり 部断熱材の張りじまい位置 ・ 図示( 図面番号: )

(3.3.3)(2)(4)  
(3.3.3)(3)  
(3.3.5)  
(表3.1.5)

脱気装置( MFO FOD FOD, MCI, MCI )  
・ 設ける( 設置数量 ・ 図示( 図面番号: )、材質( ) )  
・ 設けない  
・ 仕上塗料 種類( ) 使用量( )

保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ( )  
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ( )

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a 種 ・ b 種 ・ c 種  
保護層 ・ 設ける ・ 設けない  
屋上排水溝の適用 ・ 適用する  
立上り保護 ・ 乾式保護材( ) ・ コンクリート 押え  
・ れんが( 材質 ・ J S R250 ) ・ モルタル押え

2改質アスファルトシート 防水

(3.4.2)

改質アスファルト シート  
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )  
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )

粘着層付改質アスファルト シート 及び部分粘着層付改質アスファルト シート  
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )  
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )

断熱工法の断熱材( MAS, MAS, F0AS )  
材質、厚さ( )  
図示 ・ ( )

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ MAS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-L2		

脱気装置  
・ 設ける( 設置数量 ・ 図示( 図面番号: )、材質( ) )  
・ 設けない

ルーフィングシート  
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ( )  
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ( )

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート ・  
固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示( )  
断熱工法の断熱材( FOS, SAS, SIS, MSI )  
材質、厚さ( )  
・ 図示( )

工法	種別	種別	仕上塗料
・ SIS	・ S-F1( S-F1 )		
・ SIS	・ S-F2( S-F2 )		

脱気装置  
・ 設ける( 設置数量 ・ 図示( 図面番号: )、材質( ) )  
・ 設けない

既存防水層下地がFCコンクリート 部材の場合  
目地処理 ・ 図示( 図面番号: )  
増設張り ・ 図示( 図面番号: )  
保護層の施工 ・ 図示( 図面番号: )

3合成高分子系ルーフィングシート 防水

(3.5.2)

脱気装置  
・ 設ける( 設置数量 ・ 図示( 図面番号: )、材質( ) )  
・ 設けない

既存防水層下地がFCコンクリート 部材の場合  
目地処理 ・ 図示( 図面番号: )  
増設張り ・ 図示( 図面番号: )  
保護層の施工 ・ 図示( 図面番号: )

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ FOX	○ X-1 ○ X-2		
・ LAX			

脱気装置  
・ 設ける( 設置数量 ・ 図示( 図面番号: )、材質( ) )  
○ 設けない

工法	種別	施工箇所
・ FY	・ Y-2 ・	
・ FZY		

保護層 ・ 図示( 図面番号: )

4塗膜防水

(3.6.3)  
(表3.6.1)  
(3.6.3)(1)

脱気装置  
・ 設ける( 設置数量 ・ 図示( 図面番号: )、材質( ) )  
○ 設けない

(3.6.3)(2)

工法	種別	施工箇所
・ FY	・ Y-2 ・	
・ FZY		

保護層 ・ 図示( 図面番号: )

27

5既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(3)(4)  
(3.2.6)(3)(加)

( MAS MAS, MCI MCI ) ・ 行う ・ 行わない  
( LAX ) ・ 行う ・ 行わない

6シーリング

(3.7.2)  
(表3.7.1)

(3.7.4～7)

(3.7.8)

7 とい

(3.8.2)  
(表3.8.1)  
(表3.8.2)

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコーン系	
○ MS-2	変成シリコーン系	建具廻り
○ FS-2	ポリサルファイド系	伸縮目地
・ RJ-2	ポリウレタン系	

工法  
・ シーリング充填工法  
○ シーリング再充填工法  
・ 拡張シーリング再充填工法  
・ フリッジ工法

シーリング材の点検  
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ○ 行わない

材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管( カラー ) ・ 配管用鋼管( 白管 )  
・ ( )

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔

工法 ・ 図示( 図面番号: )

部材の種類  
・ 押出し250形  
・ 押出し300形  
・ 押出し350形  
・ 板材折曲げ形( 本体幅( ) mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ( ) )

固定金具の間隔( mm)  
固定方法 ・ ( )

表面処理 ・ ( )

工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示( 図面番号: )  
下地補修の工法 ・ 図示( 図面番号: )  
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示( 図面番号: )  
笠木固定金具の工法 ・ 図示( 図面番号: )

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の部材固定方法等は施工計画書として提出する。

8アルミニウム製笠木

(3.9.2)(3)  
(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

(3.9.2)(4)  
(3.9.3)

4外壁改修工事

1施工数量調査

○ 行う ・ 行わない  
調査範囲 ○ 全面 ・ ( )  
調査項目 ○ ひび割れ部( ・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上 )  
○ はがれ及びひびく 落部分  
○ 浮き部  
調査方法 ○ 打診、目視及びクラックスケール等( ○ 足場 ・ ゴンドラ )  
報告書 2 部( 立面図等ご記載、必要ご成して写真添付 )

2改修工法の種類

(4.1.4)  
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ ( )
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング
	浮き部	・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
○ タイル張り仕上げ 外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ○ タイル張替え工法
	目地	○ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
○ 塗り仕上げ外壁	新規土上げ	○ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ○ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

3改修工法等

(4.2.2)(1)  
(4.3.4)  
(4.4.5)  
(4.5.5)

・ 樹脂注入工法  
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法  
注入量( ) 注入口間隔( )  
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法  
注入量( ) 注入口間隔( )  
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法  
注入量( ) 注入口間隔( )

材料 エポキシ樹脂 J S A6024( 建築修用エポキシ樹脂 )  
・ 低粘度形 ・ 中粘度形

コア抜き検査 ・ 行う ・ 行わない  
・ 抜き取り個数( )  
・ 抜き取り部分補修方法( )

(4.2.2)(2)  
(4.3.5)  
(4.4.6)  
(4.5.6)

・ Uカットシール材充填工法  
材料 ・ シーリング用材充填  
( ・ PU-1 ・ PU-2 ・ ( ) )  
・ 可とう性エポキシ樹脂充填  
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填  
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(3)  
(4.3.6)  
(4.4.7)

・ シール工法  
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂  
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(4)  
(4.3.7)  
(4.4.8)

・ 充填工法  
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル  
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(7)  
(4.4.9)

・ モルタル塗替え工法  
材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料  
・ 既製目地材の適用及び形状  
・ 仕上げ層( )

(4.2.2)(5)  
(4.4.10)  
(図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼( SUS304 ) ・ ( )

(4.2.2)(5)  
(4.4.11)  
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼( SUS304 ) ・ ( )

(4.2.2)(5)  
(4.4.12)  
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼( SUS304 ) ・ ( )

(4.2.2)(6)  
(4.4.13)  
(図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼( SUS304 ) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2)(6)  
(4.4.14)  
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼( SUS304 ) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2)(6)  
(4.4.15)  
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ポリマーセメントスラリー( )  
・ 注入口付アンカーピン( ・ ステンレス鋼( SUS304 ) ・ ( ) )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2)(8)  
(4.5.7)

・ タイル部分張替え工法  
張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル  
・ 接着剤( 一夜反応硬化形変成シリコーン樹脂 ) ・ ( )

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・ 特注色の別	耐浸食性の有無

・ 役物( ・ 一体成形 ・ 接着加工 )  
・ 鋳造製り ・ 行う ・ 行わない  
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない  
・ 既調合モルタル ・ 使用する ・ 使用しない

○ タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
○ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り ・ 改良積み上げ張り	5～8 7～10
		○ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り	3～4 3～5

(4.5.15)

(4.2.2)(9)  
(4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法  
・ 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地  
(位置 寸法 × )  
検査 シーリング接着性試験  
・ 行う( ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 )

27

工事名称

豊田一色公民館外壁等改修工事

図面名

特記仕様書 (2)

縮尺

A3 : ー

日付

R4.3

訂正

担当

承認

備考

藤川設計株式会社

二級建築士 神奈川県登録 31327

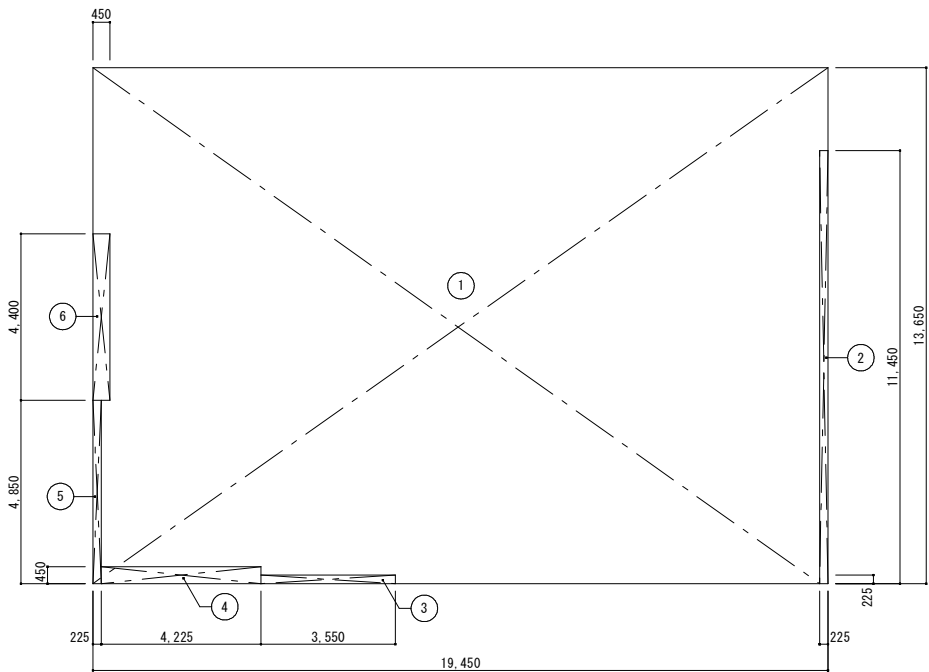
長島 彰

A-02

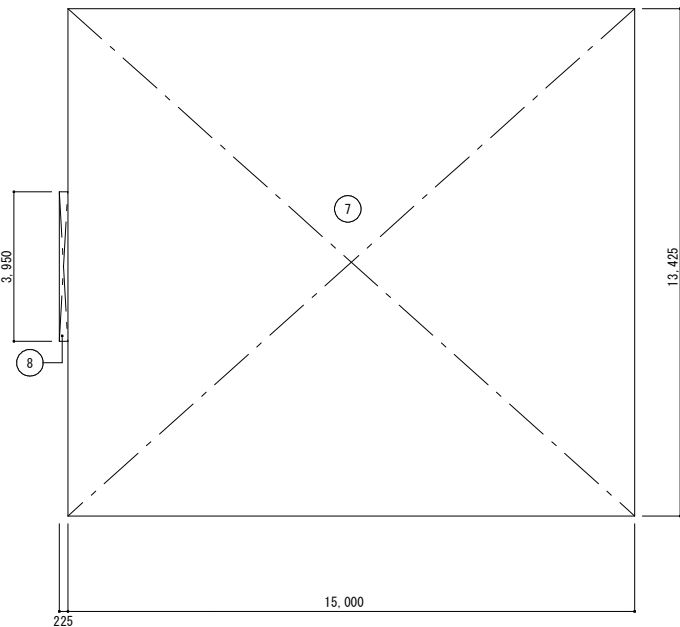




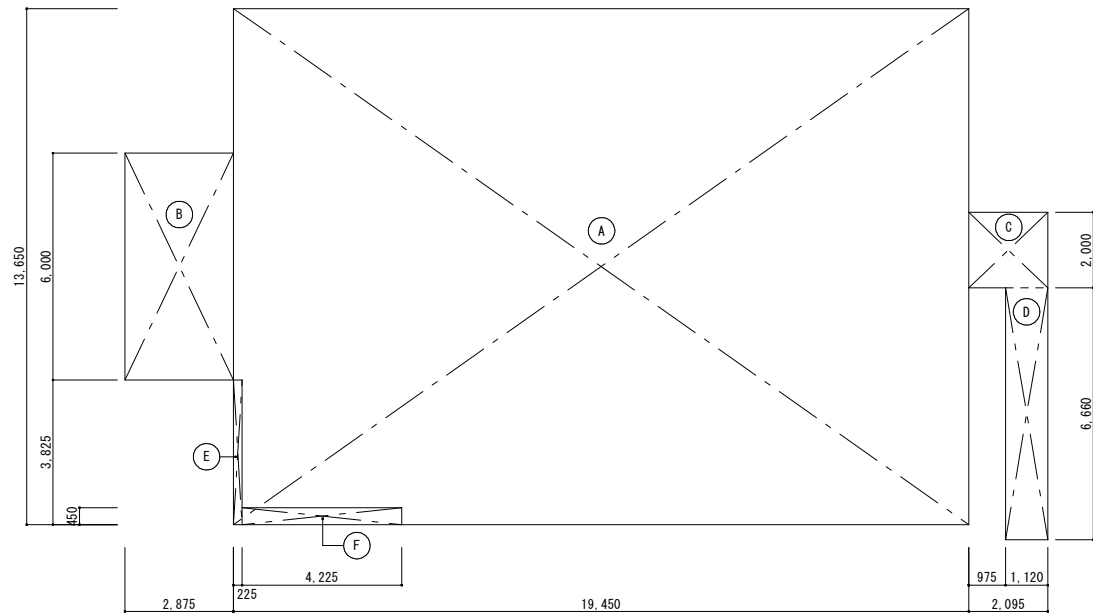
外部仕上表											
屋根	改修前	(屋上) コンクリート金ごてアスファルト露出防水の上、ウレタン塗膜防水通気緩衝工法 (1階屋根) コンクリート金ごてアスファルト露出防水 (ポーチ庇) 防水モルタル金ごての上、塗膜防水密着工法	樋	改修前	(屋上) 硬質塩ビ 管 VPφ100 OP塗 SUS製受け金物 ルーフドレン既存のまま (1階屋根) 硬質塩ビ 管 VPφ100 OP塗 SUS製受け金物 ステンレス飾り柵W150xH150xH200既存のまま コーナードレン撤去 (ポーチ庇) ステンレス縦樋60.5φ SUS製受金物 ルーフドレン撤去	外部階段	改修前	打放し弾性吹付タイルの上、外装薄塗材E (床面) モルタル金ごて			
		改修後			(屋上) 水洗い、ウレタン塗膜防水密着工法新設 (1階屋根) 水洗い、ウレタン塗膜防水ウレタン塗膜防水通気緩衝工法新設 (ポーチ庇) 水洗い、ウレタン塗膜防水密着工法新設			改修後	水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗替え (床面) モルタル金ごて水洗い		
	外壁			改修前	磁器質小口タイル一部撤去 (下地モルタル共) 打放し弾性吹付タイルの上、外装薄塗材E		軒裏		改修前	(屋根) 打放し弾性吹付タイルの上、外装薄塗材E (ポーチ庇) 打放し弾性吹付タイルの上、外装薄塗材E	ポーチ
		改修後			磁器質小口タイル水洗い一部新設 (下地モルタル共) 水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗替え			改修後		100角磁器質タイル張水洗い	
犬走り	改修前		コンクリート打放し	笠木	改修前	(屋上) アルミ笠木W200撤去 (1階屋根) アルミ笠木W250撤去	スロープ		改修前	(床面) 100角磁器質タイル張 (立上り・花壇) 小口タイル張	
		改修後	コンクリート打放し水洗い			改修後		(屋上) アルミ笠木W200新設 (1階屋根) アルミ笠木W250新設		改修後	(床面) 100角磁器質タイル張水洗い (立上り・花壇) 小口タイル張水洗い



1階求積図 S=1:200



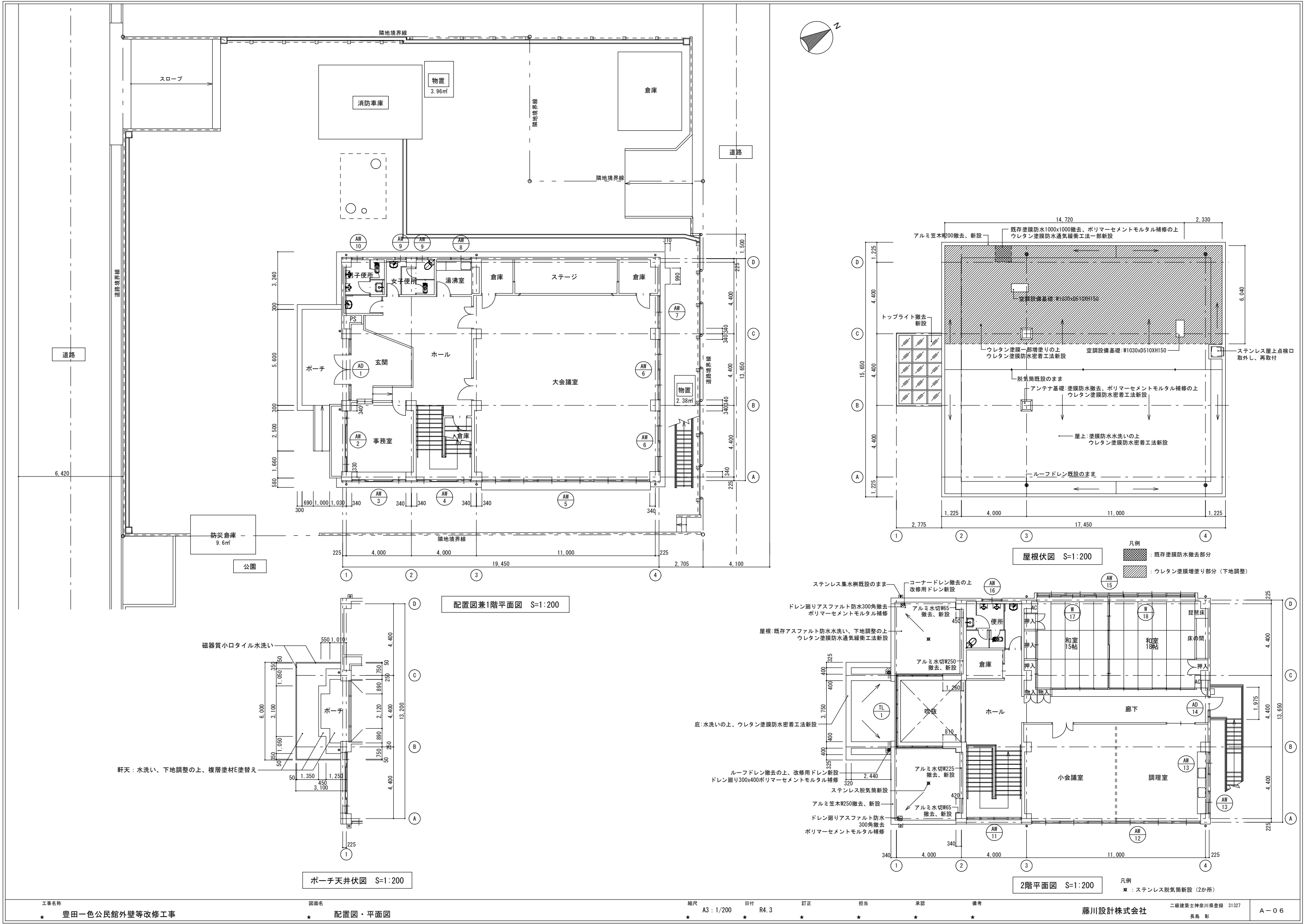
2階求積図 S=1:200

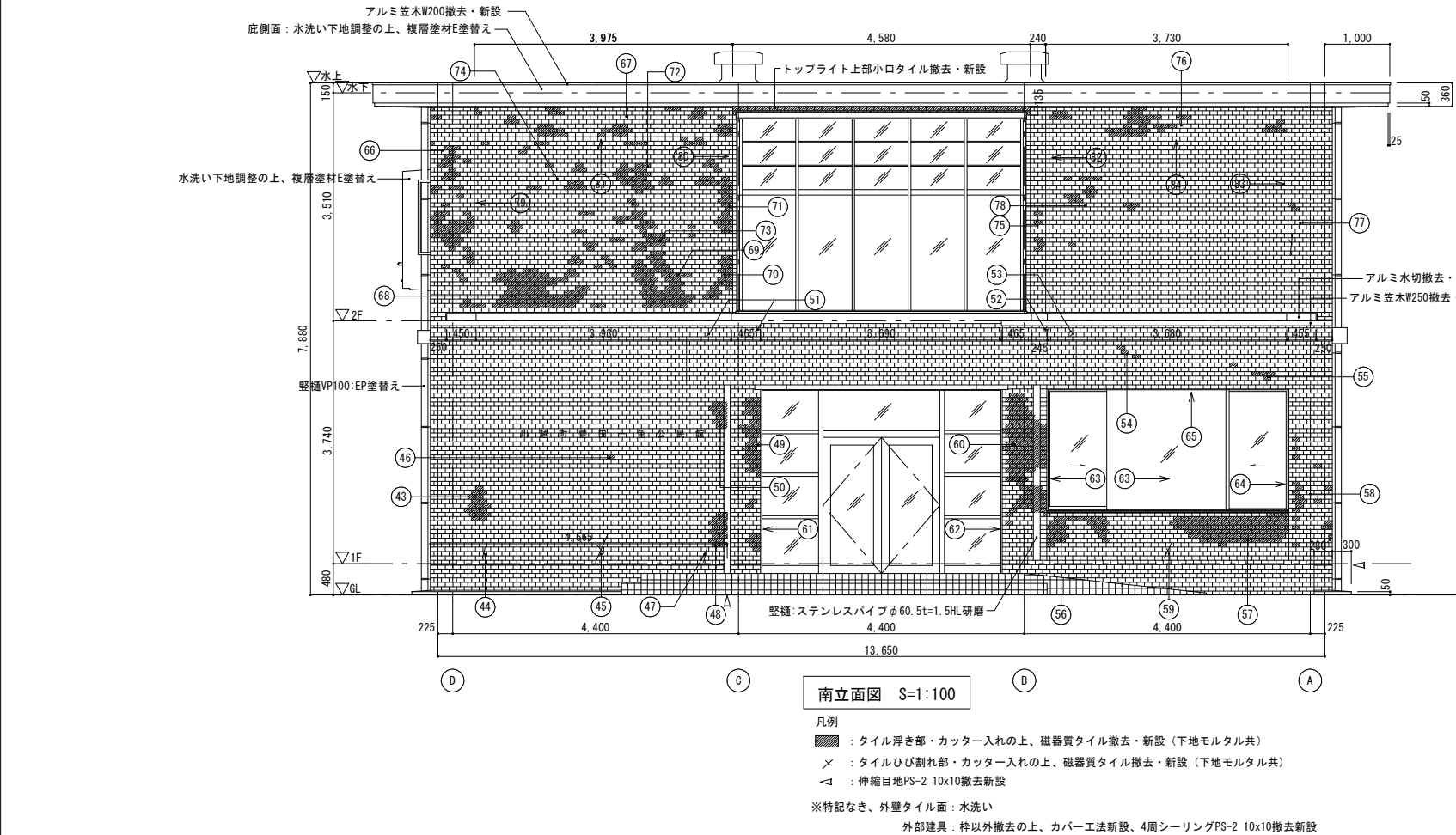
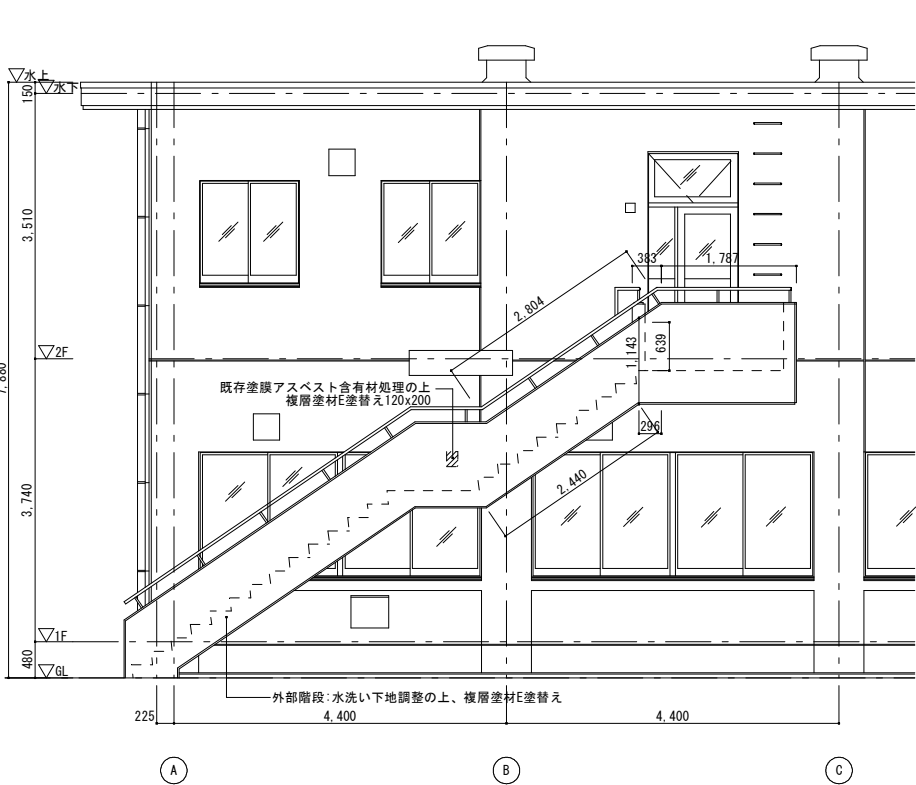
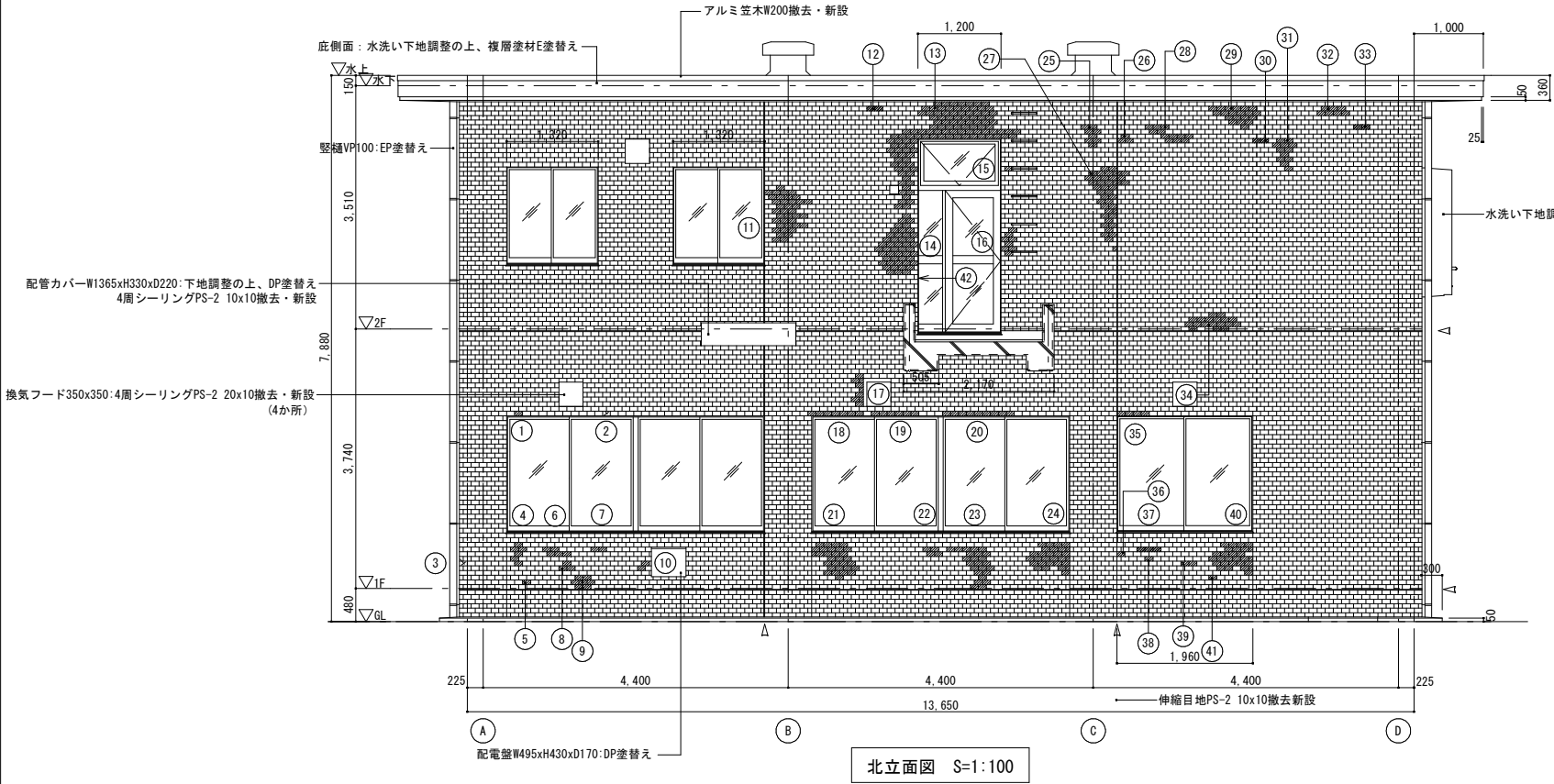


建築面積求積図 S=1:200

床面積表			
2階	⑦	15.0 x 13.425 = 201.375	202.27 m <sup>2</sup>
	⑧	0.225 x 3.95 = 0.88875	
1階	①	19.45 x 13.65 = 265.4925	257.14 m <sup>2</sup>
	②	0.225 x 11.45 = -2.57625	
	③	3.55 x 0.225 = -0.79875	
	④	4.225 x 0.45 = -1.90125	
	⑤	0.225 x 4.85 = -1.09125	
	⑥	0.45 x 4.4 = -1.98	
合計			459.41 m <sup>2</sup>

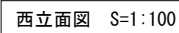
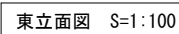
建築面積表			
①	19.45 x 13.65 = 265.4925	291.63 m <sup>2</sup>	
②	2.875 x 6.0 = 17.25		
③	2.095 x 2.0 = 4.19		
④	1.120 x 6.660 = 7.4592		
⑤	0.225 x 3.825 = -0.860625		
⑥	4.225 x 0.45 = -1.90125		





北面タイル集計表						南面タイル集計表									
符号	小口平	小口曲	小口屏風	50x60	35x60	符号	小口平	小口曲	小口屏風	50x60	35x60	90x60	100x60	110x50	曲50・50x60
①			1			④3	18								
②			1			④4	3								
③		2				④5	16								
④	4					④6	1								
⑤	1					④7	3								
⑥	5					④8	15			4					
⑦	2					④9	22	16							
⑧	3					⑤0	10			3					
⑨	7					⑤1	1	1							
⑩	2					⑤2	1								
⑪	36	1				⑤3	1								
⑫	3					⑤4	3								
⑬	102	3	1			⑤5	5								
⑭	43	4				⑤6	29			1					
⑮	1					⑤7	85			2				3	
⑯	6	2				⑤8	17	4							
⑰	6			3		⑤9	4								
⑱			7			⑥0	95	18							
⑲			6			⑥1	23	10			3	7			
⑳			9			⑥2	55	27			5	8			
㉑	29			1		⑥3	1				2	2			
㉒	4					⑥4	43	38			11	11			
㉓	24					⑥5	2								
㉔	12					⑥6	53	15							
㉕	8					⑥7	32		9	2					
㉖	3					⑥8	99								
㉗	38			6		⑥9	61								
㉘	12					⑦0	17			4					
㉙	20					⑦1	33			5					
㉚	2					⑦2	29								
㉛	12					⑦3	31								
㉜	7					⑦4	16								
㉝	2					⑦5	4	1							
㉞	18					⑦6	37		5	1					
㉟			4			⑦7	1	7							
㊱	1					⑦8	16								
㊲	3					⑦9	21								
㊳	1					⑧0	138	6			4	8		5	
㊴	2					⑧1	32								
㊵	26			3		⑧2	3								
㊶	1					⑧3	11	4							
㊷		3			3	⑧4	38								
小計	446	15	29	13	3	小計	1125	147	14	22	25	28	8	3	5



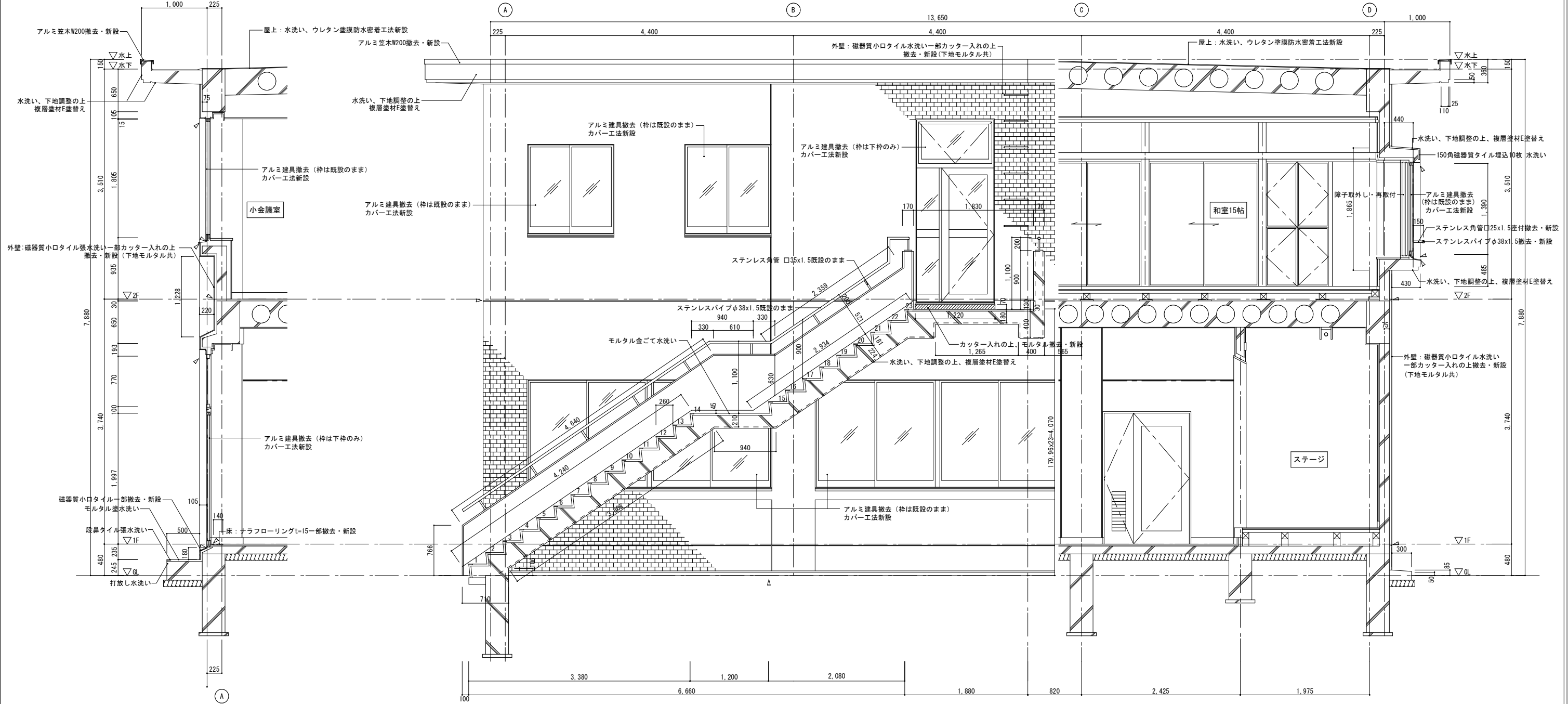


凡例

- : タイル浮き部・サッパ入れの上、磁器質タイル撤去・新設（下地モルタル共）
- × : タイルひび割れ部・カッター入れの上、磁器質タイル撤去・新設（下地モルタル共）
- ◁ : 伸縮目地PS-2 10x10撤去新設

※特記なき、外壁タイル面：水洗い

外部建具：サッパ入れ撤去の上、カバー工法新設、4周シーリングPS-2 10x10撤去新設



凡例  
◁ : シーリング (伸縮目地) PS-2 10x10撤去新設  
(建具廻り) MS-2 10x10撤去新設

D  
A

225 1,000

立上り：水洗い、ウレタン塗膜防水密着工法

アルミ笠木W200撤去・新設

屋上平場：水洗い、ウレタン塗膜防水密着工法新設

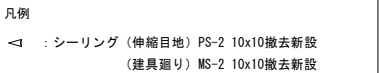
75 175 75 75 235 360 150 110 25 25

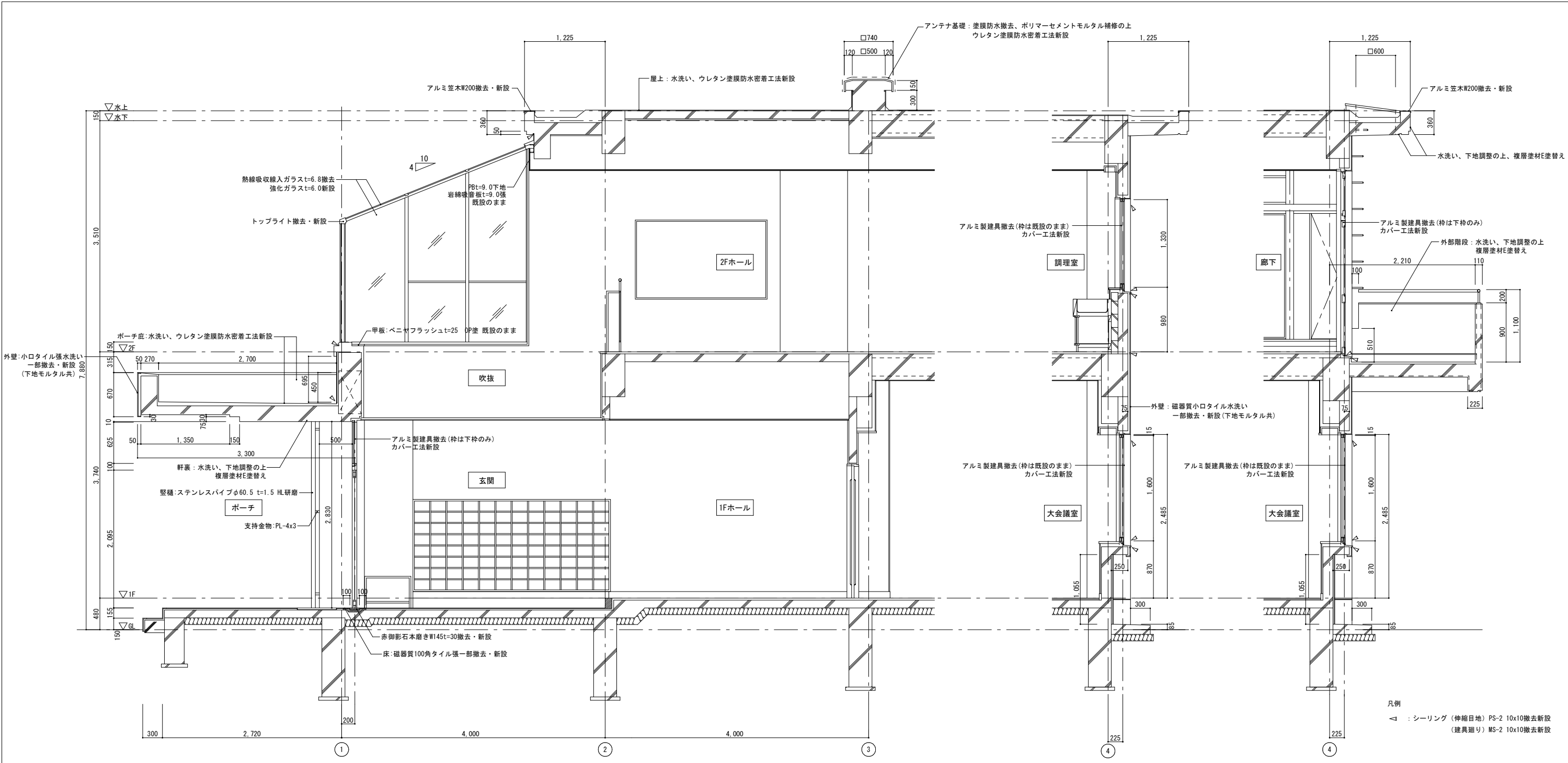
▽水下

水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗替え

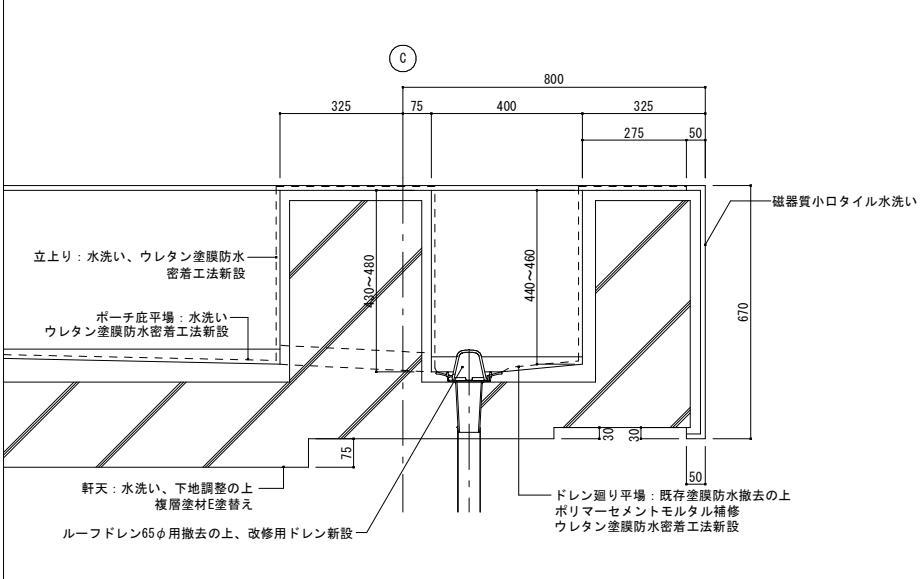
外壁：磁器質小口タイル張水洗い、一部撤去・新設（下地モルタル共）

75 75 190

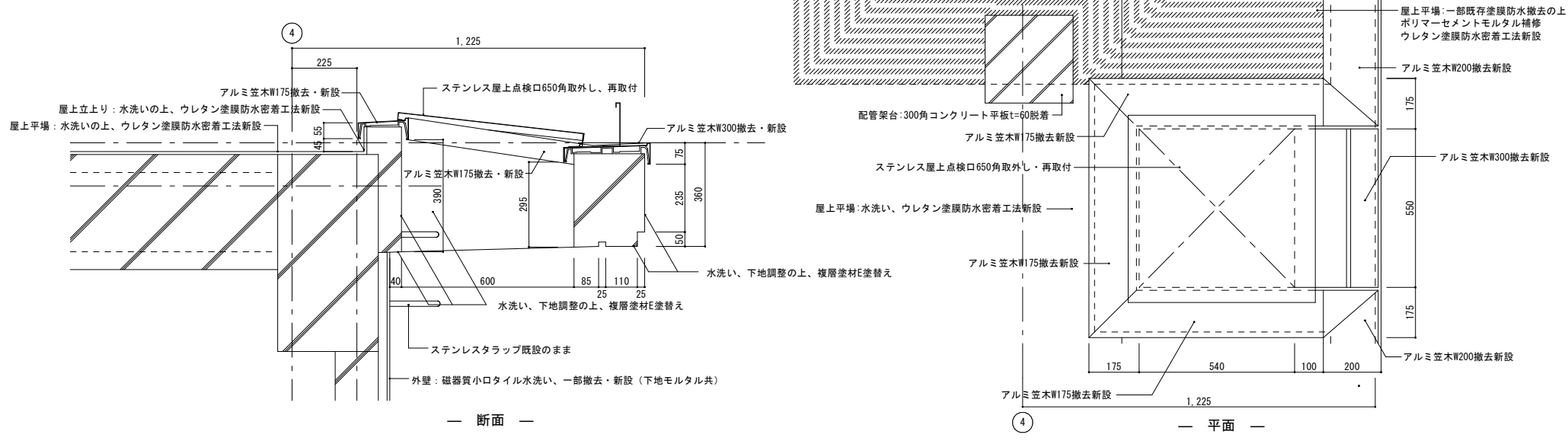


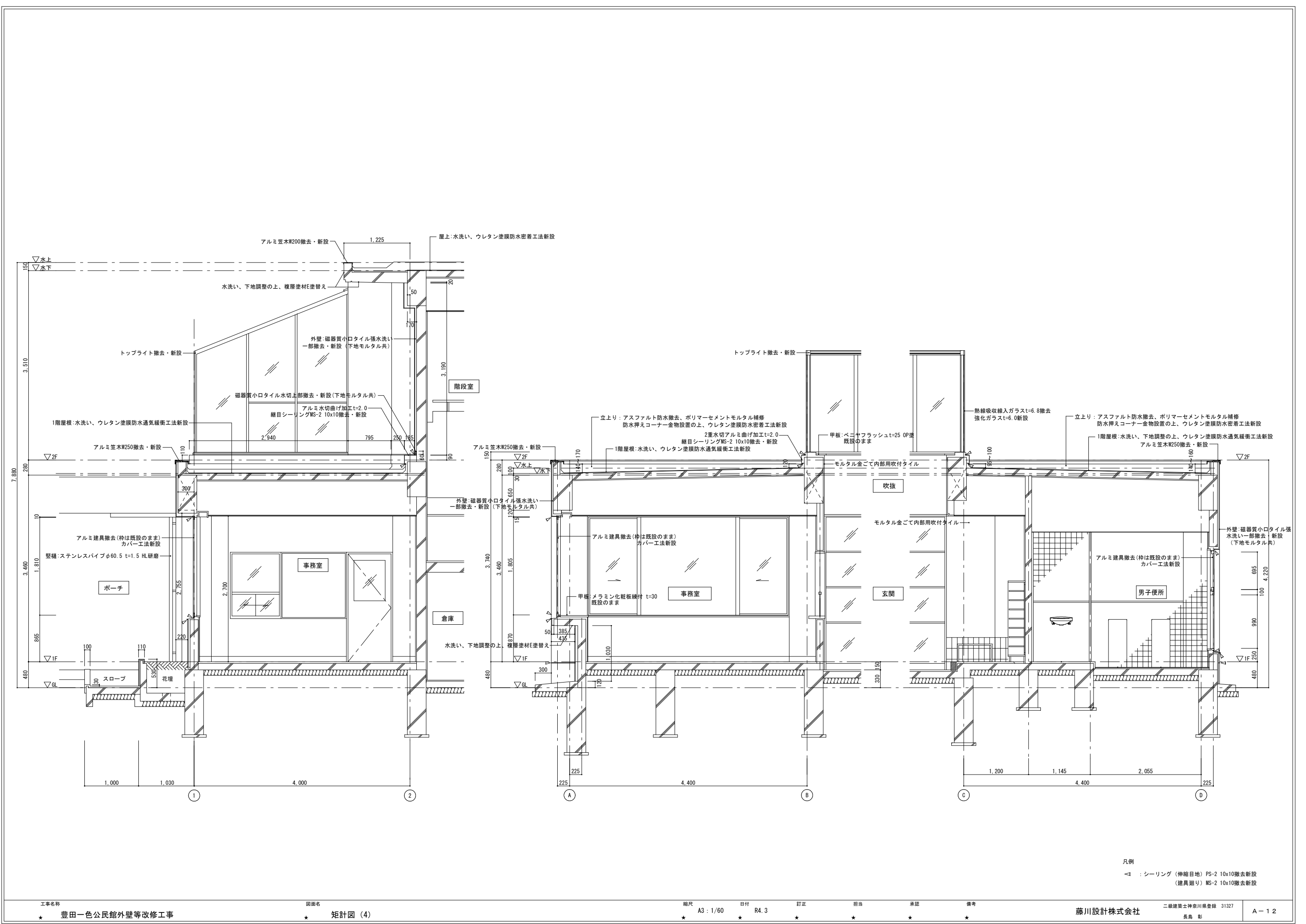


ポーチ底詳細図 S=1:20



屋上点検口廻り詳細図 S=1:20





凡例  
◁ : シーリング (伸縮目地) PS-2 10x10撤去新設  
(建具廻り) MS-2 10x10撤去新設

記号・数量	AD 1 両袖欄間嵌殺し窓付アルミ両開き戸 撤去	1	AW 2 両袖片引窓付嵌殺しアルミ窓 撤去	1	AW 3 両袖片引窓付嵌殺しアルミ窓 撤去	1	AW 4 両袖片引窓付嵌殺しアルミ窓 撤去	1	AW 5 排煙窓付引違いアルミ窓(カバー工法) 撤去	1																
形状																										
仕上	アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は下枠のみ撤去)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去																	
硝子	透明ガラスt=5.0(扉部分:t=6.0)撤去		透明ガラスt=5.0(FIX部分:t=6.0)撤去		透明ガラスt=5.0(FIX部分:t=6.0)撤去		透明ガラスt=5.0撤去		透明ガラスt=5.0撤去																	
見込	70		70		70		70		70																	
金物	付属金物一式・フロアヒンジ・フラスコ落とし撤去		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸(引違い部分)撤去																	
備考	アルミ額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま、ステンレス柵撤去		木製額縁既設のまま、オペレーター装置・カーテン・暗幕撤去																	
記号・数量	AW 6 アルミ引違い窓 撤去	2	AW 7 アルミ引違い窓 撤去	1	AW 8 アルミ引違い窓 撤去	1	AW 9 アルミ滑り出し窓 撤去	2	AW 10 嵌め殺し窓付アルミ滑り出し窓 撤去	1	AW 11 排煙窓付アルミ嵌め殺し窓 撤去	1														
形状																										
仕上	アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)															
硝子	透明ガラスt=5.0撤去		透明ガラスt=5.0撤去		網入型ガラスt=6.8撤去		網入型ガラスt=6.8撤去		型ガラスt=4.0撤去		透明ガラスt=5.0撤去															
見込	70		70		70		70		70		70															
金物	付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・2重水切		付属金物一式・2重水切		付属金物一式・2重水切															
備考	木製額縁既設のまま、カーテン・暗幕撤去		木製額縁既設のまま、カーテン・暗幕撤去		アルミ額縁既設のまま		アルミ額縁既設のまま		アルミ額縁既設のまま		木製額縁既設のまま、オペレーター装置撤去															
記号・数量	AW 12 アルミ引違い窓 撤去	1	AW 13 アルミ引違い窓 撤去	2	AW 14 片袖嵌め殺し排煙窓付アルミ片開き戸 撤去	1	AW 15 嵌め殺し窓付引違い窓 撤去	1	AW 16 嵌め殺し窓付引違い窓 撤去	1	AW 17 5本引障子 取り外し	1	AW 18 6本引障子 取り外し	1	AW 19 アルミトップライト 撤去	1										
形状																										
仕上	アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は下枠のみ撤去)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は下枠のみ撤去)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は下枠のみ撤去)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去											
硝子	網入り型ガラスt=6.8撤去		網入り型ガラスt=6.8撤去		網入り型ガラスt=6.8撤去		網入り型ガラスt=6.8撤去		網入り型ガラスt=6.8撤去		網入り型ガラスt=6.8撤去		網入り型ガラスt=6.8撤去		熱線吸収網入りガラスt=6.8撤去											
見込	70		70		70		70		70		70		70		78.5											
金物	付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		付属金物一式・ステンレス下枠t=2.0撤去		付属金物一式・2重水切		付属金物一式・2重水切		付属金物一式・2重水切		付属金物一式・アルミ2重水切t=2.0撤去											
備考	アルミ額縁既設のまま、目隠しスクリーン撤去		アルミ額縁既設のまま、目隠しスクリーン撤去		木製額縁既設のまま、ブラインド撤去		オペレーター装置撤去		ステンレスパイプ撤去						木製額縁既設のまま											
記号・数量	AW 16 アルミ引違い窓 撤去	1	W 17 5本引障子 取り外し	1	W 18 6本引障子 取り外し	1	TL 1 アルミトップライト 撤去	1																		
形状																										
仕上	アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去(枠は既設のまま)		スプルス素地		スプルス素地		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去		アルミ電解着色(B-2種)・ブロンズ撤去											
硝子	網入り型ガラスt=6.8撤去						熱線吸収網入りガラスt=6.8撤去		熱線吸収網入りガラスt=6.8撤去		熱線吸収網入りガラスt=6.8撤去		熱線吸収網入りガラスt=6.8撤去		熱線吸収網入りガラスt=6.8撤去											
見込	70		30		30		78.5		78.5		78.5		78.5		78.5											
金物	付属金物一式・可動ガラス繊維網戸・2重水切		引手・数居滑り既設のまま		引手・数居滑り既設のまま		付属金物一式・アルミ2重水切t=2.0撤去		付属金物一式・アルミ2重水切t=2.0撤去		付属金物一式・アルミ2重水切t=2.0撤去		付属金物一式・アルミ2重水切t=2.0撤去		付属金物一式・アルミ2重水切t=2.0撤去											
備考	アルミ額縁既設のまま、目隠しスクリーン撤去						木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま											
工事名称	豊田一色公民館外壁等改修工事		改修前 建具表				縮尺 A3 : 1/100		日付 R4.3		訂正		担当		承認		備考		藤川設計株式会社		二級建築士神奈川県登録 31327		長島 彰		A-13	

記号・数量	(AD-1)両袖欄間嵌設し窓付アルミ両開き戸 新設(カバー工法)	1	(AW-2)両袖片引窓付嵌設しアルミ窓 新設(カバー工法)	1	(AW-3)両袖片引窓付嵌設しアルミ窓 新設(カバー工法)	1	(AW-4)両袖片引窓付嵌設しアルミ窓(カバー工法)	1	(AW-5)排煙窓付引違いアルミ窓(カバー工法)	1
型状										
仕上	着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ	
硝子	強化ガラスt=5.0(扉部分:t=6.0)		強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0	
見込	70		70		70		70		70	
金物	付属金物一式・フロアヒンジ・フラスン落とし		付属金物一式・可動ステンレス網戸(16メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・可動ステンレス網戸(16メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・可動ステンレス網戸(16メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・引違い部分:可動ステンレス網戸(16メッシュ)・下枠ステンレス	
備考	アルミ額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま、ステンレス柵新設		木製額縁既設のまま、オペレーター装置・カーテン、暗幕新設	
記号・数量	(AW-6)アルミ引違い窓 新設(カバー工法)	2	(AW-7)アルミ引違い窓 新設(カバー工法)	1	(AW-8)アルミ引違い窓 新設(カバー工法)	1	(AW-9)アルミ滑り出し窓 新設(カバー工法)	2	(AW-10)嵌め殺し窓付アルミ滑り出し窓 新設(カバー工法)	1
型状										
仕上	着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ	
硝子	強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0		強化型ガラスt=4.0		強化型ガラスt=4.0		強化型ガラスt=4.0	
見込	70		70		70		70		70	
金物	付属金物一式・可動ステンレス網戸(16メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・可動ステンレス網戸(16メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・可動ステンレス網戸(16メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・2重アルミ水切		付属金物一式・2重アルミ水切	
備考	木製額縁既設のまま、カーテン、暗幕新設		木製額縁既設のまま、カーテン、暗幕新設		アルミ額縁既設のまま		アルミ額縁既設のまま		アルミ額縁既設のまま	
記号・数量	(AW-12)アルミ引違い窓 新設(カバー工法)	1	(AW-13)アルミ引違い窓 新設(カバー工法)	2	(AD-14)片袖嵌設し排煙窓付アルミ片開き戸 新設(カバー工法)	1	(AW-15)嵌め殺し窓付引違い窓 新設(カバー工法)	1	(AW-11)排煙窓付アルミ嵌め殺し窓 新設(カバー工法)	1
型状										
仕上	着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ	
硝子	強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0		強化ガラスt=4.0	
見込	70		70		70		70		70	
金物	付属金物一式・可動ステンレス網戸(18メッシュ)・2重アルミ水切		付属金物一式・可動ステンレス網戸・2重アルミ水切		付属金物一式・ステンレス下枠t=2.0		付属金物一式・2重アルミ水切		付属金物一式・2重アルミ水切	
備考	木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま、ブラインド新設		木製額縁既設のまま		木製額縁既設のまま、ステンレスパイプ新設		木製額縁既設のまま、オペレーター装置新設	
記号・数量	(AW-16)アルミ引違い窓 新設(カバー工法)	1	(W-17)5本引障子 再取付	1	(W-18)6本引障子 再取付	1	(IL-1)アルミトップライト 新設(カバー工法)	1		1
型状										
仕上	着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ		スプル素地		スプル素地		着色陽極酸化塗装複合府幕(BB-2種)・ブロンズ			
硝子	強化型ガラスt=4.0						強化ガラスt=6.0			
見込	70		30		30		200			
金物	付属金物一式・可動ステンレス網戸・2重アルミ水切		引手・敷居滑り既設のまま		引手・敷居滑り既設のまま		付属金物一式・アルミ2重水切			
備考	アルミ額縁既設のまま、目隠しスクリーン新設						木製額縁既設のまま			
工事名称 豊田一色公民館外壁等改修工事 図面名 改修後 建具表 縮尺 A3:1/100 日付 R4.3 訂正 担当 承認 備考 藤川設計株式会社 二級建築士神楽川県登録 31327 長島 彰 A-14										

